

Q & A

2023年9月28日

 **ブロードエンタープライズ**

2023年12月期 第2四半期決算補足資料（質疑応答集1）

この質疑応答集は、2023年8月7日発表の2023年12月期 第2四半期決算に関して、発表以降に株主、投資家などの方々からいただいたお問い合わせ、感想、当社からの回答をまとめたものです。ご理解を賜ることを目的として一部内容・表現の加筆・修正を行っております。

INDEX

Q/01 通期業績予想達成に向けてリスクがあれば教えてください。 **P.2**

Q/02 第2四半期まで業績好調ですが、下期、そして来期もこの売上拡大ペースが続くかについて教えてください。 **P.2**

Q/03 下期の利益率が前期よりも下がっている要因について教えてください。 **P.2**

Q/04 時価総額 280 億円の根拠について教えてください。 **P.2**

Q/05 旧収益認識基準であれば計上されていた追加の売掛金額を教えてください。 **P.2**

時価総額については代表中西の YouTube 動画でも解説しております。

【前編】時価総額 8 倍目指します！上場企業社長が解説【中西良祐チャンネル】

https://youtu.be/_gaZZgi7ezc



【後編】時価総額 8 倍目指します！上場企業社長が解説【中西良祐チャンネル】

<https://youtu.be/aGw3ASk2XGw>



Q/01 通期業績予想達成に向けてリスクがあれば教えてください。

- A 通期業績予想について、まず上方修正の要因として B-CUBIC Next の増加と BRO-ROOM の通期売上 2.5 億円を見込んでおります。BRO-ROOM に関して、受注は上がってきているものの、売上は第 4 四半期に集中するものと見込んでおります。リスクとしては、B-CUBIC Next は回線工事の期ズレ、BRO-ROOM は想定している工事期間が長くなった場合の期ズレが想定されます。

Q/02 第 2 四半期まで業績好調ですが、下期、そして来期もこの売上拡大ペースが続くかについて教えてください。

- A 第 2 四半期までの結果の要因としては、新たなフロー収益モデルである B-CUBIC Next が売上高を押し上げたことが起因しており、下期も引き続き同様の傾向が見られると想定しております。また、下期から BRO-ROOM が本格稼働しており、通期売上 2.5 億円を見込んでおります。来期もこれらの施策を推し進め、売上拡大に繋げてまいります。

Q/03 下期の利益率が前期よりも下がっている要因について教えてください。

- A 下期は、上期と比較して販管費を保守的に見ております。その要因として、4 月入社の新入社員 3 か月分の給与が増加すること、研究開発費として約 2,000 万円弱の費用を見込んでいることなどが挙げられます。また、BRO-ROOM の売上総利益率は約 25~30%を見込んでおり、BRO-ROOM の販売拡大により、全体の売上総利益率は低下するものと想定しております。

Q/04 時価総額 280 億円の根拠について教えてください。

- A 当社はプライム市場への移行を当面の目標としており、市場変更に必要な基準の一つとして、流通時価総額 100 億円、流通株式比率 35%があり、約 280 億円の時価総額が必要です。また、もう一つの基準に、直近 2 期分の利益合計 25 億円というものがあります。こちらを達成するための利益成長率と照らし合わせて算出しております。

Q/05 旧収益認識基準であれば計上されていた追加の売掛金額を教えてください。

- A 該当するのは B-CUBIC の初期導入費用部分の売掛金であり、概算で 1,649 百万円になります。